

HIFU（高密度焦点式超音波）施術前の確認及び承諾書

HIFUは2004年にアメリカで開発され、現在までの症例で照射した時の各組織への影響について、以下の結果が得られました。

- ・ 皮膚：照射後に一過性の紅斑が生じる程度皮膚の陥凹や肥厚性瘢痕等の報告はなし。
- ・ 神経：神経周辺を施術、刺激した場合、しびれ等の違和感が一時的に生じる場合があるが、永続的な神経障害の報告はない。
- ・ 骨や脳：皮膚が薄い部位に対しては、焦点の浅いトランスデューサーを用いて、表層にのみ反応させるため、影響ある報告はなし。

ですが、人によっては治療後に皮膚が赤みを帯びいたり、腫れ感が現れることがあります。ほとんどの場合数日でおさまります。ただし、違和感が続くときや症状に不安がある場合は、早めにご相談頂き、病院へご受診ください。

※ 以下の項目に該当する方は、HIFUの治療は受けられません。

ご確認頂き、はい ・ いいえ をどちらか☑してください。

- ・ 心臓ペースメーカーや体内埋込式徐細動器など体内に金属類を埋め込んでいる はい ・ いいえ
- ・ 金の糸（金属糸含）によるリフト（歯のインプラント、金歯などは大丈夫です） はい ・ いいえ
- ・ 妊娠中または妊娠している可能性のある はい ・ いいえ
- ・ 重度の心臓疾患を有する はい ・ いいえ
- ・ ケロイド体質 はい ・ いいえ
- ・ 感染性の皮膚疾患のある部位、大きな瘢痕組織のある部位、開放性傷のある はい ・ いいえ
- ・ 抗凝血薬療法、副腎皮質ステロイド（プレドニン換算20mg/日以上）を常用されている はい ・ いいえ
- ・ 施術部位に金属プレート、プロテーゼ、シリコンなどを使用している はい ・ いいえ

※直上には照射できません。

- ・ 施術部位にコラーゲン、ヒアルロン酸、ボトックス等注射を行ってから1ヶ月以内 はい ・ いいえ

※HIFU照射可能ですが、注入部位はしこりができる可能性と、注入治療の持続性が短くなる可能性があります。

- ・ 皮膚が薄い方、肌が弱い方、敏感肌 はい ・ いいえ

※自覚がなくても肌質によって、照射後赤み、ミミズ腫れや内出血が出る可能性、また赤みが長引く可能性があります。

- ・ 痛みに弱い はい ・ いいえ

※痛みに弱い方には出力を下げての照射可能ですが、効果が弱まります。

- ・ ケミカルピーリングやその他のピンリングを行ってから1ヶ月以内 はい ・ いいえ

※HIFU施術可能ですが、皮が薄い為、照射中の痛みや照射後赤み、ミミズ腫れが出る可能性、また赤みが長引く可能性があります。

施術をお受けなった方は、下記施術後の注意事項をお守り頂ける事と見なします。

- ・ 施術後当日はサウナやお風呂を避け、シャワーのみにします。（血流をよくすると赤みが出やすくなる為）
- ・ タバコ、アルコール類は3日間我慢します。（細胞や傷の修復に悪影響がある為）
- ・ たるみやシワ、しみなどの原因となる紫外線からのダメージを避けるため、必ず日焼け止め対策を行います。（SPF30以上）
HIFU施術後は、お肌の細胞が活発し、美容液も紫外線も吸収しやすく、日焼け止め対策しないとシミなどができやすくなります。
- ・ 肌が乾燥して水分不足の状態になると、シワやたるみなどの原因になることがあるため、十分に保湿ケアをします。

私は _____ 上記各項を申告せず、または守らず、何らかのトラブルが発生した場合は、

〇〇〇〇〇（サロン名）に責任を問いません。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

住所 _____

署名 _____ ⑧

お店のスタンプなど